



平成30年10月5日

各位

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
代表者 代表取締役社長 花岡 浩一
(JASDAQ コード番号 1730)
問合わせ先責任者 財務経理部長 植村 亮二
(TEL. 044-422-2061)

債権の取立不能のおそれ及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の取引先である株式会社エム・テックが、平成30年10月1日付けで民事再生手続開始の申立てを行い、平成30年10月5日にその再生手続開始が決定されたことに伴い、下記のとおり、当該取引に対する債権について取立不能のおそれが生じたので、お知らせいたします。

記

1. 当該取引先の概要

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| (1) 商号 | 株式会社エム・テック |
| (2) 本店所在地 | 埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目7番2号 |
| (3) 代表者の氏名 | 代表取締役 向山照愛 |
| (4) 事業の内容 | 建設業 |
| (5) 資本金の額 | 4億66百万円 |
| (6) 設立年月 | 昭和63年10月 |
| (7) 資本関係・人的関係 | なし |
| (8) 取引関係 | 最近事業年度(平成30年3月期)における完成工事高
29百万円 |

2. 当該取引先に生じた事実及びその事実が生じた年月日

平成30年10月1日付け、東京地方裁判所に民事再生手続開始の申立て

3. 当該取引先に対する債権の種類、金額及び純資産に対する割合

債権の種類	手形債権 5百万円、売掛債権 126百万円
合計金額	約 131百万円(平成30年10月1日現在)
純資産に対する割合	最近事業年度の末日(平成30年3月31日)の純資産(13億7百万円)に対する割合 10.0%

4. 今後の見通し

当該事実は、当社の債務者である株式会社エム・テックが民事再生手続開始の申立てを行い、平成30年10月5日にその再生手続開始が決定したことに伴い対応するものであります。

当該債権の取立不能見込額につきましては、平成31年3月期第2四半期の決算において、その貸倒が見込まれる金額を貸倒引当金繰入額に計上する予定であります。

5. 平成31年3月期第2四半期（累計）及び通期業績予想数値の修正

(1) 第2四半期（累計）（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,000	△20	△19	△12	△3.52
今回修正予想（B）	1,831	△157	△154	△115	△33.69
増減額（B－A）	△169	△137	△135	△103	—
増減率（%）	△8.5	—	—	—	—
（ご参考）前期第2四半期 （累計）実績 （平成30年3月期第2四半期）	2,007	△143	△143	△102	△30.17

(注) 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。

(2) 通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,700	110	119	83	24.31
今回修正予想（B）	4,531	△27	△16	△27	△12.64
増減額（B－A）	△169	△137	△135	△110	—
増減率（%）	△3.6	—	—	—	—
（ご参考）前期通期実績 （平成30年3月期）	3,773	△112	△104	△141	△41.51

(注) 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。

(3) 修正の理由

平成31年3月期の売上高につきましては気泡コンクリート工事において今後遅れていた公共工事の発注が増加すると見込んでおりますが、工期や当社の施工体制を考慮した結果売上高は前回予想より減少し4,531百万円となる見込みであります。また前述「4. 今後の見通し」のとおり、当社取引先が民事再生手続開始の申立てを行い、再生手続の開始が決定されたことにより、当該債権の貸倒が見込まれる金額を販売費及び一般管理費に貸倒引当金を繰入る予定のため、前回予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

以上